

令和4年7月27日

令和3年度 一般会計決算の概要

1 令和3年度一般会計決算のポイント

新型コロナウイルス感染症対策のために、前年度を上回り過去最大の決算規模

・新型コロナウイルス感染症対策については、昨年度に引き続き国庫支出金等の財源を最大限確保し、医療提供体制の確保と感染拡大防止対策、経済・雇用対策等を実施（約4,222億円）。

・新型コロナウイルス感染症対策を除くと、歳出は約9,206億円で、文化庁移転施設整備や道路新設改良等の基盤整備、社会保障関係経費の増などにより約151億円増となった。

歳入は約9,345億円で、府税が約279億円の増、地方譲与税が約44億円の増、減収補填債が約187億円の減などにより約107億円増となった。

➡ 府税の増収等により歳入総額は増大したが、社会保障関係経費の累増等により、引き続き厳しい財政運営が続く見通し。また、新型コロナウイルス感染症や原油価格・物価高騰等による景気動向等への影響を注視していく必要。

令和3年度一般会計決算収支

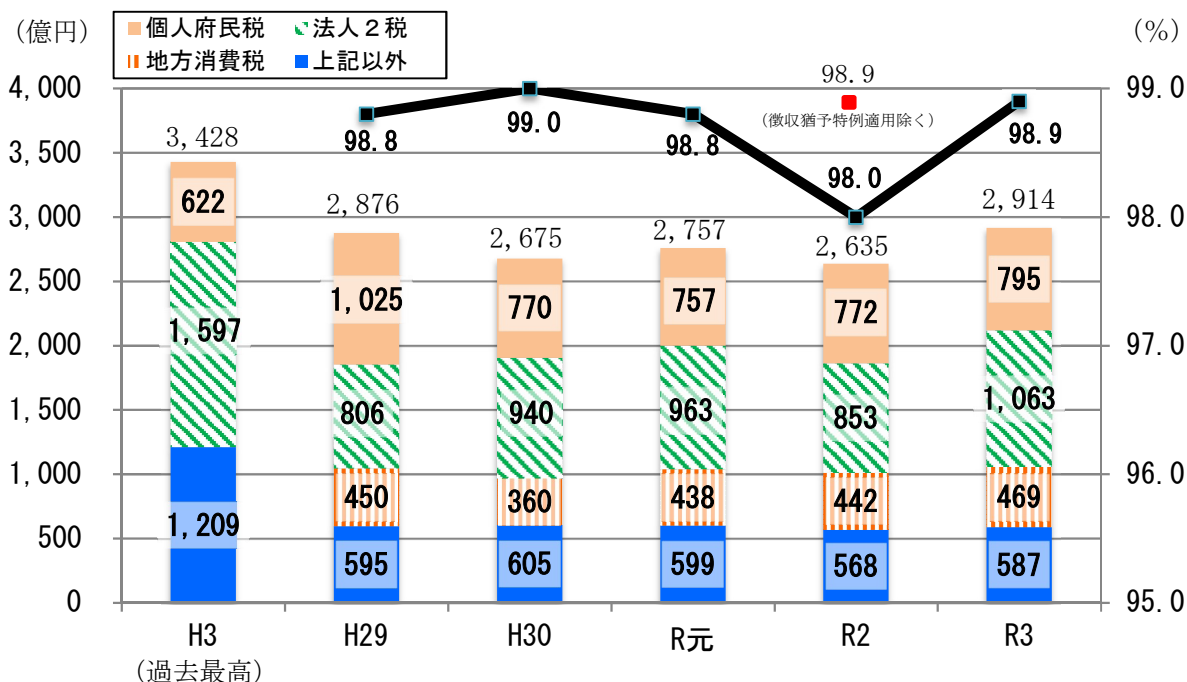
(単位：百万円、%)

| | 令和3年度 | 令和2年度 | 増減額 | 対前年度比 |
|----------------|-----------|-----------|---------|---------|
| 歳入総額 A | 1,356,661 | 1,220,817 | 135,844 | 111.1 |
| 歳出総額 B | 1,342,848 | 1,202,475 | 140,373 | 111.7 |
| 形式収支 C=A-B | 13,813 | 18,342 | ▲4,529 | 75.3 |
| 翌年度へ繰り越すべき財源 D | 3,399 | 2,864 | 535 | 118.7 |
| 実質収支 E=C-D | 10,414 | 15,478 | ▲5,064 | 67.3 |
| 前年度実質収支 F | 15,478 | 1,428 | 14,050 | 1,083.9 |
| 単年度収支 E-F | ▲5,064 | 14,050 | ▲19,114 | ▲36.0 |

※ 翌年度に返還が必要な新型コロナウイルス感染症対策関連の国庫支出金の影響を除くと、令和3年度の実質収支は約24億円、単年度収支は約6億円の黒字となる。

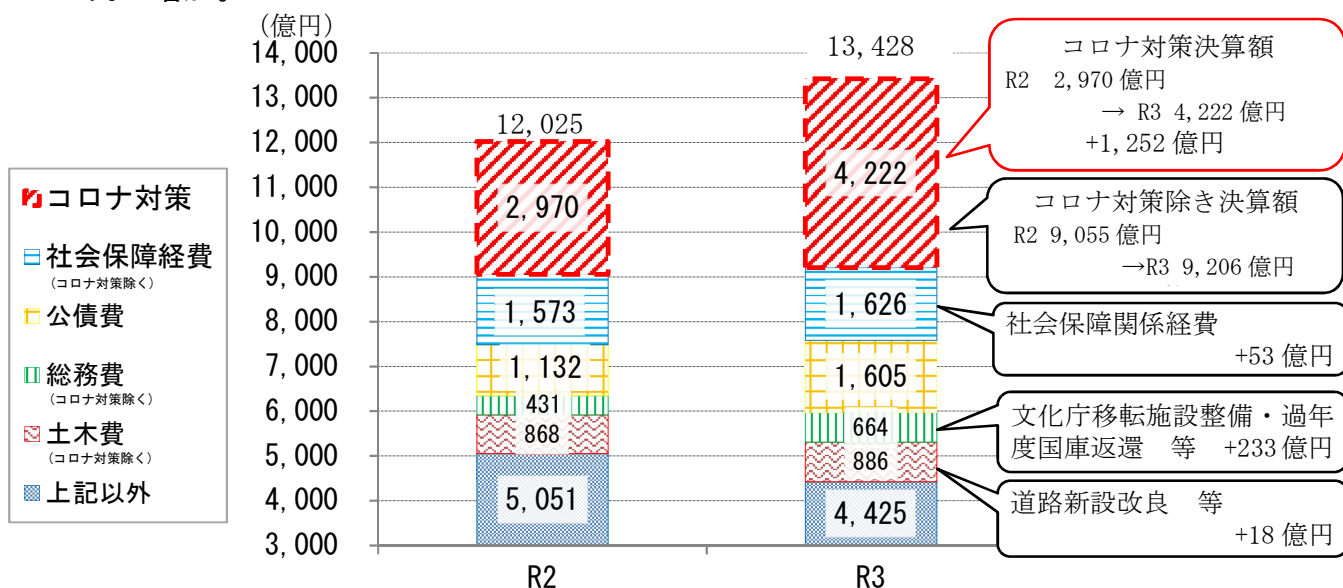
2 府税決算の状況

- ▶ 企業業績の回復により、法人2税が約210億円の増収となるなど、総額は約279億円増の約2,914億円。
- ▶ 府税徴収率は、98.9%となった。



3 歳出決算の状況

- ▶ 新型コロナウイルス感染症対策は、医療提供体制の確保と感染拡大防止対策（約2,311億円）、経済・雇用対策等（約1,911億円）を実施し、約4,222億円となった。
- ▶ 新型コロナウイルス感染症対策を除いた決算額は約9,206億円で、約151億円増加。
- ▶ 社会保障関係経費は、医療費関係経費の増加等により約53億円の増加。
- ▶ 総務費は、文化庁移転施設整備や過年度の国庫支出金の返還等で、約233億円の増加。



【主な取組みと成果】

▶新型コロナウイルス感染症への対応 **4,222億円**

(1) 医療提供体制等の確保と感染拡大防止対策 **2,311億円**

- ・新型コロナウイルスワクチン接種体制の確保や個別・職域接種の促進 [約59.8億円]
- ・入院患者受入のための病床確保や機器整備の支援 [約455.1億円]
- ・軽症者等が滞在療養するための宿泊療養施設の整備・運営 [約65.2億円]
- ・パルスオキシメーター・食料品等の配付など自宅療養者への生活支援 [約16.8億円]
- ・休業・営業時間短縮要請に協力いただいた事業者への協力金 支給件数 186,030件 [約1,567.3億円]

(2) 京都経済を支える対策 **1,668億円**

- ・旅行割引やクーポン券発行の支援、「京の食」プレミアムフード等の製造・販売による需要喚起を通じ、需要が落ち込んだ観光や飲食・食品製造、小売・サービス事業者を支援 [約38.1億円]
- ・厳しい経営環境にある観光・伝統・食関連事業者の新たな事業展開等を支援 [約28.9億円]
- ・ゼロゼロ融資等の中小企業融資制度のための預託及び利子補給 融資件数 8,704件 [約1,569.3億円]

(3) 生活・雇用の安心強化 **243億円**

- ・コロナ禍により離職等を余儀なくされた女性等の就労を支援 [約5.6億円]
- ・ひとり親家庭や大学生等への生活必需品配付等を実施し生活不安を解消 [約3.5億円]
- ・生活福祉資金の貸付原資の積み増し [約220.3億円]

▶「京都府総合計画～京都夢実現プラン～」実現に向けた施策展開

(1) 子育て環境日本一への挑戦 **風土づくり** **まちづくり** **職場づくり**

- ・「WEラブ赤ちゃんプロジェクト」の始動 経済界・各種団体・行政等が共同での賛同は**全国初**
- ・商店街、企業等と連携し、「きょうと子育て応援施設」を展開 **実施店舗 326 店舗**
- ・子育てにやさしいまちづくりに取り組む市町村のモデル事業を支援 **8市町**
(親子が集い、子どもが安心して遊べる公園・広場等の居場所づくり等)
- ・子育てにやさしい職場づくりを進める企業を支援(子連れワーキングスペース設置や時間単位の年休導入等)
職場づくり行動宣言延べ企業数 1,642 社(総合計画目標 (R5 1,500 社)を前倒しで達成)
- ・不妊治療給付制度の拡充や産前産後ケアの支援など安心・安全に妊娠・出産できる体制づくりを推進

(2) 新産業創造・成長に向けた取組

- ・危機克服会議の議論を踏まえ、地域課題の解決や新しい需要への対応等に取り組む事業者を支援
(商店街・小売業、ものづくり、伝統産業、観光、食産業)
- ・日本最大級の国際的なアートフェア「Art Collaboration Kyoto」を開催 **入場者数 13,910 人**
- ・府オリジナル米新品種『京式部』^{きょうしきぶ}本格販売、米の食味ランキングにおいて山城ヒルカリ・丹後コヒカリが**特A取得**
- ・働く人の学びを支援する「生涯現役クリエイティブセンター」を開設
- ・精密旋盤等の産業教育デジタル化機器を高校に整備し、地域産業を牽引する人材を育成 **19校**

(3) 災害・犯罪等からの安心・安全に向けた取組

- ・府と京都市が総合地域環境学研究所と共同で「京都気候変動適応センター」を設置
- ・大規模な浸水、土砂災害等に備えた先進的な防災・減災対策 **約230億円規模**

「WEラブ赤ちゃんプロジェクト」始動
 経済界・各種団体・行政等の共同賛同は全国初
 社会全体であたたく見守り支え合うオール京都
 の推進体制を構築



泣いても
かましまへん!

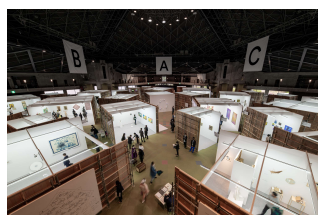


子育てにやさしい職場づくりの推進
行動宣言延べ企業数は R3 末で 1,642 社
(総合計画目標 (R5 1,500 社) を前倒して達成)

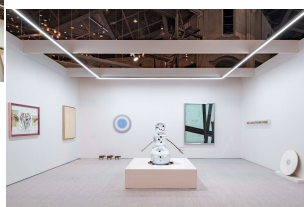
子連れコワーキングスペース設置や時間単位の
 年休導入など子育てにやさしい職場づくり
 を進める企業を支援



「Art Collaboration Kyoto」開催
国内 31・海外 23 ギャラリー集結、入場者数 13,910 人
 現代アートに特化した日本最大級のアートフェア
 を京都で開催



(ACK2021 photo by Omote Nobutada)



(ACK2021 photo by Omote Nobutada)

危機克服会議の議論を踏まえた事業者支援
 商店街・小売業、ものづくり、伝統産業、観光、
 食産業の 5 分野の新事業を展開



(西陣織・京友禅・丹後織物の
 3産地が連携し、京都を世界的な
 シルクテキスタイルの
 産地に)



(京都プレミアム中食の開発を支援)

府オリジナル米新品種『京式部』本格販売
 府と農研機構が共同開発した、米の新品種「京
 式部」の提供や販売を、京料理店、百貨店等で
 本格的に開始



「生涯現役クリエイティブセンター」開設
 人生 100 年時代を見据え、生涯学び、生きが
 いを感じながら働き続けることのできる社会
 の実現を目指し、働く人の相談から情報提
 供、学び直しを一貫して支援



4 府民利用施設の充実

井手やまぶき支援学校（井手町）

令和4年4月開校

山城地域の特別支援学校における児童生徒の急増に対応するため、井手町との連携協力のもと、特別支援学校を新設

総事業費：約68.4億円（R3決算約29.6億円）

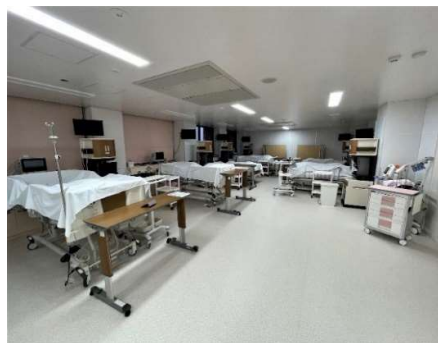


府立医科大学附属病院医療イノベーションセンター（京都市）

令和4年5月供用開始

府立医科大学附属病院に臓器別のチーム医療で、専門的かつ最適な医療を提供するメディカルセンターを整備

総事業費：約2.9億円（R3決算約2.0億円）



はまたんご
主要地方道浜丹後線（宮バパス）（京丹後市）

たいざおおみや だいもんはし
一般府道間人大宮線（大門橋）（京丹後市）

令和4年3月暫定供用

バイパス整備により、緊急輸送道路ネットワークの機能が強化されるとともに、通過車両がバイパス部を通行することにより、現道の歩行者等の安全性が向上

総事業費：約32.0億円（R3決算約5.6億円）



ごうのくちあまるべ うつねはし
一般府道郷ノ口余部線（宇津根橋）（亀岡市）

令和4年2月供用開始

宇津根橋の架替により、通行車両や歩行者の安全性が格段に向上するとともに、大地震にも耐える強度を確保したことで、災害時の信頼性が向上

総事業費：約41.0億円（R3決算約10.8億円）



おおはたがわ
大畠川砂防堰堤（舞鶴市）

令和3年9月供用開始

平成30年7月豪雨による土砂災害で家屋全壊などの被害が生じたことを受け、下流域の被害防止のため砂防堰堤を設置

総事業費：約3.6億円（R3決算約0.5億円）



アスレチック広場（丹波自然運動公園）（京丹波町）

令和3年11月供用開始

既存の木製遊具をリニューアルし、子ども達が安全にチャレンジ精神を養い、達成感を得られる木製アスレチック広場を整備

総事業費：約1.1億円（R3決算約1.1億円）



5 府債残高の状況

- ▶ 府債残高は、前年度から417億円増加

府債残高

R2末 2兆3,447億円 → R3末 2兆3,864億円

府民1人当たり残高

R2末 927千円 → R3末 943千円

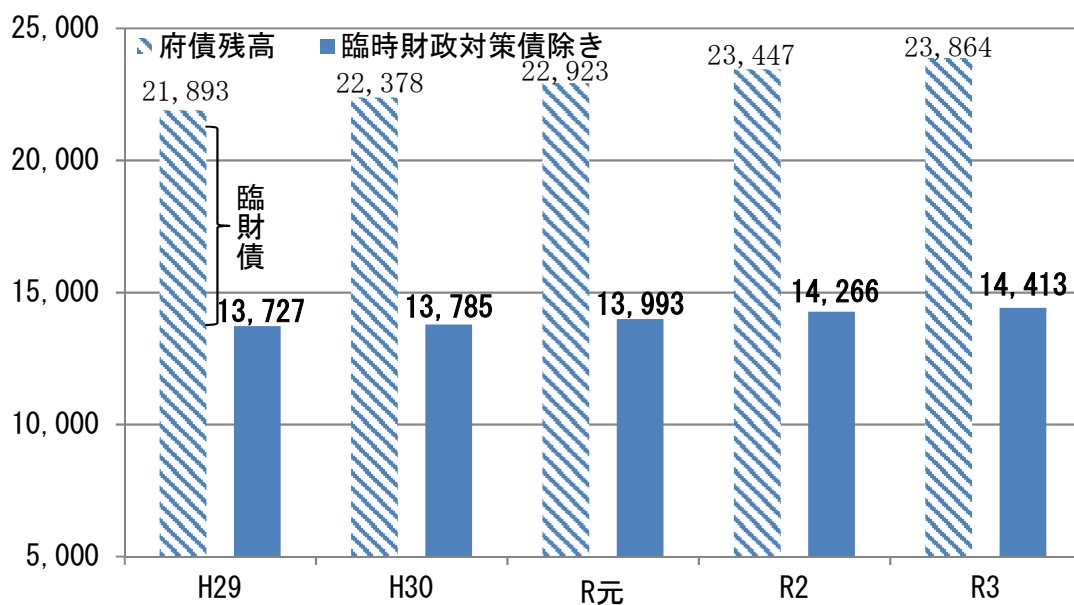
臨時財政対策債除く残高

R2末 1兆4,266億円 → R3末 1兆4,413億円

府民1人当たり残高(臨財債除く)

R2末 564千円 → R3末 570千円

(億円)



【本報道発表に関するお問合せ】

総務部財政課 課長 青島 一路 電話 075-414-4410・4421

